

しゃくなげ

学校の教育目標 志をもち 仲間とともに創りだす生徒



七転八起(しちてんはつき)をスローガンに

校長 福井敏彦

令和8年度、よいスタートが切れています。3年生がよき手本となる姿を示し、1・2年生が真似ています。始業式・入学式で代表生徒が語った「志」を具現していこうとする意欲を感じます。

小さな行動を積み重ねる

・・・自分からあいさつをしてみることで、昨年度よりも挙手の回数を増やすことなど、本当に小さなことでも構いません。大切なのは『やってみよう』という気持ちと、その一歩を踏み出す勇氣です。・・・挑戦を重ねることで、自分でも気づかぬうちに視野が広がり、できることが増えていくはず。また、挑戦する姿勢は周りの人にもよい影響を与えます。誰かが挨拶をすれば自然と挨拶が返ってきます。小さな行動の積み重ねが、七宗中の空気をより温かく、前向きなものにしていきます。・・・（始業式生徒代表 塚本紫乃さんの話より）

昨年度よりも朝のあいさつの声が大きくなりました。チャイムがなる前に自席につき読書に親しむ姿が当たり前になっています。前向きな構えで1日がスタートできています。

紫乃さんの言う通り、小さな行動の積み重ねが、七宗中の空気をより温かく、前向きなものにしているのを感じます。

4本柱で自分自身が成長する

・・・1つめは授業。互いの考えを聞き、新しい視点に触れることで、学びはより深く豊かなものになります。2つ目はあいさつ。あいさつは小さな行動ですが、周りの人を笑顔にする力をもっています。3つ目は掃除。丁寧に掃除する姿勢は自分自身を整えることにもつながります。4つ目は合唱。声を重ねる中で生まれる一体感は七宗中ならではの大切な伝統です。

私たち生徒会は、この4本柱を大切にしながら、自分自身を成長させ、七宗中をよりよい学校にしていこうと日々努力しています。・・・（入学式生徒会長 藤井佑佳さんの話より）

授業、あいさつ、掃除、合唱・・・この4つの活動がなぜ「柱」なのか、佑佳さんは端的に語っています。活動の値打ちを感じているからこそ、前向きに取り組めるのだと思います。

今朝もさわやかなあいさつを受けました。空き教室も整えられています。帰りの会の合唱は職員室まで響いています。一人だけでなく、みんなで志を立てて取り組むから実践できるのですね。

生徒会スローガン ～七転八起(しちてんはつき)～

「何度失敗しても立ち上がる」という意味がこめられています。自信は失敗を糧に成功したときにつきます。言い換えれば「失敗しないで自信がつく方法はない」のです。私たち大人も「転ばぬ先のつえ」でなく、「七転八起」で生徒の成長を支援していきます。